

直方文学散歩・小説編  
夢野久作の作品

直方市史に登場する文学作品

直方市史下巻（昭和53年1978年発行）の「文学作品にあらわれた直方」で、次の作家と作品が紹介されています。（舌間信夫氏執筆）

- ① 森鷗外の「小倉日記」  
岩波書店の森鷗外全集に収録されていますが、ちくま文庫の森鷗外全集13（平成8年1996年発行）に収録され容易に入手できます。
- ② 林芙美子の「放浪記」  
新潮文庫に収録されており、容易に入手できます。
- ③ 夢野久作の作品（後述します）  
・ 犬神博士（長編小説）  
・ 女坑主（短編小説）  
・ 骸骨の黒穂（短編小説）
- ④ 橋本英吉の「筑豊炭田」  
戦時中の昭和18年1943年発行の長編小説で、明治24年1891年8月30日の筑豊興業鉄道直方駅の開業風景が記述されていて貴重ですが、古書店で購入する以外に読むことができません。

夢野久作という作家

市内各地に文学碑や説明板が設置されている森鷗外や林芙美子に比べて、夢野久作の名は直方市民にはほとんど知られていません。出身地である福岡市には文学館があってもよさそうなものですが、やはり知名度は低いようです。

夢野久作（1889～1936）は本名が杉山直樹、福岡市に生まれ中学修猷館卒業後に上京、慶應義塾大学を中退後に帰省し、郊外の香椎で広大な農園を経営しながら様々な職業を経て、福岡市在住のまま作家生活を始めました。

昭和11年3月、二二六事件直後の東京の亡父の自宅で来客応接中に急死しました。47歳の若さで作家としての円熟期はまだこれからでした。



夢野久作（孫の杉山満丸氏提供）

ペンネーム夢野久作の由来

「夢の久作」とは博多方言で夢の家を意味し、処女作「あやかしの鼓」を読んだ父親の杉山茂丸が「こらどうかいな。夢の久作さんが書いたごたる小説じゃねえ」と感想を述べたことに由来するとされています。

個性豊かな杉山一族

- ・ 父 杉山茂丸  
明治維新に乗り遅れた福岡藩士族の出身で玄洋社の総帥頭山満の盟友であり浪人国士として明治大正昭和の政財界に大きな影響を及ぼした。
- ・ 長男 杉山龍丸  
陸軍士官学校卒の飛行隊整備隊長として南方戦線を転戦、負傷して陸軍少佐で終戦。戦後はインドの砂漠緑化に取組み、グリーンファーズと呼ばれる。私財を投じて四万六千坪の杉山農園を全て手放した。

その長男の満丸氏は元高校教師で杉山三代の頭影に努めておられ、今回の写真を提供いただいた。

- ・ 次男 三苦鐵児  
教職につき、退職後は福岡教育大学などで同和問題の講師を務めた。
- ・ 三男 杉山参禄  
父久作の文学者としての資質を受け継ぎ、生涯無職独身の詩人であった。

直方の歴史と文化

文 榊 正 澄

文化財に関する問い合わせ：文化スポーツ推進課社会教育係（TEL 25-23326）

人の動き

■人口	56,607人（-118）	■世帯数	27,256世帯（+173）
〔うち外国人639人〕			
男	26,751人（-22）	全て令和2年2月末現在	
女	29,856人（-96）		（ ）は前年同月との比較

<発行>直方市  
〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号  
URL … <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>  
<発行日>毎月1日（月1回）  
<編集>秘書広報課秘書広報係  
TEL … (0949)25-2236 FAX … (0949)22-5107  
E-MAIL … [n-koho@city.nogata.fukuoka.jp](mailto:n-koho@city.nogata.fukuoka.jp)  
<印刷・制作>株式会社ワールドプリンティング

<編集後記>

「春になり 別れになり 出会いなり」  
別れの季節ですが、新しい出会いの季節でもあります。寂さをこらえ、前に一歩ずつ。4月から「ふるさと情報係」は、「秘書広報係」に変わりました。どうぞ、よろしくお祈りします。(Ki)

携帯電話向け情報提供サービス

直方市 ホームページ	情報メール 「つながるのがた」	直方市 インスタグラム	直方市バーチャル ミュージアム

市の情報がもりだくさん 緊急情報、イベント情報など さあ、あなたもフォロー！ 直方の文化を隅々まで